

第34回全国椿サミット松江大会

第34回全国椿サミット松江大会

第34回

松江 全国 椿サミット

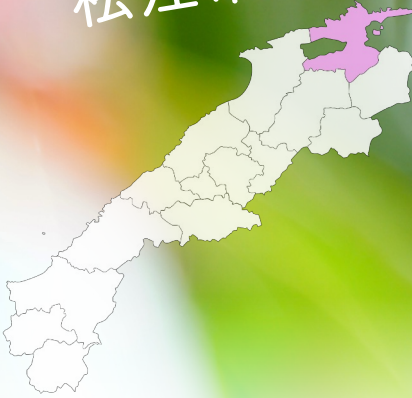
第34回全国椿サミット松江大会



国宝松江城

MATSUE TSUBAKI SUMMIT 2024

島根県
松江市



神話の息づく地で
椿に出会う二日間



2024年

3月9日(土)/10日(日)

主会場 松江テルサ

テルサホール ほか
(島根県松江市朝日町478-18)

3月9日

- 全国椿サミット松江大会 (アトラクション、講演等)
- 特産品販売、椿展示等
- 交流会 (松江の食文化・伝統芸能の提供)

3月10日

- 記念植樹
- 現地視察 (松江城椿谷、国宝松江城、堀川遊覧船)
- オプションルツアー

※内容を変更する場合があります

松江大会HP



第34回全国椿サミット松江大会 検索

ホームページは随時更新します

共催：松江市 / 第34回全国椿サミット松江大会実行委員会 ほか
お問合せ：第34回全国椿サミット松江大会実行委員会
TEL 0852-55-5517 Email bunka-kakari@city.matsue.lg.jp



椿だけ
じゃない！

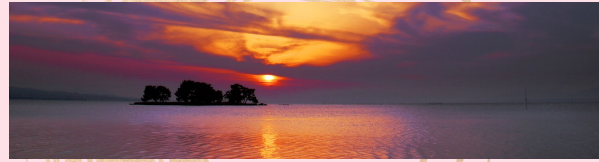
松江市ってどんなところ？

島根県の県庁所在地であり、京都市・奈良市と並ぶ
国際文化観光都市である松江市の特徴とは？

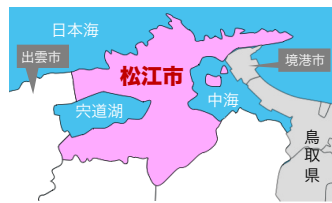
しんじこ

宍道湖

日本を代表する夕日に心奪われる！



宍道湖の美しい「夕日ショー」は日本の夕陽百選にも登録されるほど。市内のあちこちに絶景景観スポットが存在しますが、観光遊覧船「はくちょう号」の最終便は日没に合わせて出航時間を調整しており、サンセットクルージングを楽しめます。日本初の「夕日予報」で事前にチェックしよう！



島根県東部に位置し、出雲空港までバスで30分ほどと首都圏からのアクセスが良好。市の西部にはしじみ漁と夕焼けの美しさで名高い宍道湖が！

ここが
島根県

国宝五城のひとつ 国宝松江城



松江城は、全国に現存する12天守のひとつで、別名「千鳥城」とも呼ばれています。明治初期、全国のほとんどの城が取り壊される中、地元の豪農や旧松江藩士など有志の尽力のおかげで、山陰で唯一現存しています。



椿谷公園

松江城内にある椿谷公園は、日本三大ヤブツバキ群のひとつとされており、赤以外にピンクや白など様々なヤブツバキがあります。松平治郷（不昧）公など椿の好きな殿様が、参勤交代時に江戸や京都から苗を持ち帰り、椿谷に植えたことから多様な品種が生まれたといわれています。

気軽に楽しむのが松江スタイル お抹茶 & 和菓子



はるさと ふまい
松江藩松平家七代藩主・松平治郷（不昧）公が茶人だったことから、市民に茶の湯文化が根付いている松江。市内には、菅田庵や明々庵といった不昧公ゆかりの茶室があるほか、多くのカフェで気軽にお抹茶を楽しめます。肩ひじをはらずに楽しむのが「松江流」。また、お抹茶に欠かせない和菓子も松江名物のひとつ。松江は京都、金沢に並び日本三大菓子処として知られています。



松平治郷（不昧）公

松江藩松平家七代藩主にして、江戸時代の代表的な茶人のひとり。号を不昧としたことから「不昧公」「不昧さん」と呼ばれています。財政破綻していた松江藩を家老とともに改革しました。

美肌の秘訣が松江に!?

温泉

玉造温泉、松江しんじこ湖温泉など市街から程近い温泉に恵まれている松江。玉造温泉は、約1300年前に編纂された『出雲国風土記（いずものくにふどぎ）』に神の湯と記されている山陰を代表する温泉で、心身ともに潤いを与えてリフレッシュ！



自然が作った神秘の場所

加賀の潜戸（くけど）

松江市街の北、島根半島の加賀地区にある潜戸＝洞窟。「新潜戸」は佐太大神がお生まれになった場所と『出雲国風土記』に記されています。陸寄りにある「旧潜戸」の「賽の河原」には幼くして先立った子どもの魂が集まると言われています。3月から11月までは観光遊覧船が運航！

